

第 25 回全国大会

日本中世英語英文学会

2009 年 11 月 28 日 (土)・29 日 (日)

慶應義塾大学 日吉キャンパス
〒223-8521 横浜市港北区日吉 4-1-1
TEL 045-566-1110 (浅川順子研究室)

第 1 日 11 月 28 日 (土) 13:45-18:05

会長講演 (独立館 DB201 教室)

Chaucer's Language: 'Subjectivisation' and 'Expanding Semantics'

会長 中尾佳行 (広島大学)

シンポジウム I (独立館 DB201 教室)

The Medieval English Cosmos: Its Reception, Interpretation, Representation

司会・総論 藤井香子 (大阪学院大学)

'we on bocum ymbe Godes wundra rædað': Biblical Treatments in Wulfstan's Homily

藤井香子 (大阪学院大学)

Cosmic Order in the Old English *Solomon and Saturn II* Dr Daniel Anlezark (The University of Sydney)

The *Awntyrs* and the *Trentals*: A Window onto Late Medieval Perspectives Martin Connolly (鶴見大学)

Expanding Universe of the Grail Mystery Prof Francis K. H. So (Wenzao Ursuline College of Languages)

研究発表 I (D411 教室)

1. イングランド人になるということ—*Havelok the Dane* を中心に 岡本広毅 (立教大学大学院)
2. 『カンタベリー物語』における swearing について 松崎武志 (立教大学大学院)
3. 中世末のイギリスにおけるカルメル会の霊性と平信徒教育についての一考察 久木田直江 (静岡大学)
4. Unleashing the Vernacular: The Inclusive Hermeneutics of *The Prickyng of Love* 井口 篤 (放送大学)

研究発表 II (D412 教室)

5. OE における迂言的な法動詞+不定詞構文の意味論的及び統語論的発達について
—Gregory's *Dialogues* のヴァージョン間比較研究を中心に 山本伍紀 (慶應義塾大学大学院)
6. The Development of the Idiomatic Constructions of the Type 'take care of' and the Functional/Syntactic Changes of the Genitive from OE to ME 小池剛史 (大東文化大学)
7. 中世英文学と書物史研究—本邦所在の英国初期刊本調査から 徳永聡子 (慶應義塾大学)
8. 明治・大正期における Malory の *Le Morte Darthur* 翻訳作品の研究 山田 攻 (埼玉医科大学)

第 2 日 11 月 29 日 (日) 10:00-12:30

シンポジウム II (DB201 教室)

'Gothic' と現代—Derek Brewer 教授の業績を称えて
Brewer 教授の Gothic Chaucer

司会・総論 高宮利行 (慶應義塾大学名誉教授)
小林宜子 (東京大学大学院総合文化研究科)

Malory と Brewer 教授の仕事
Symbolic Stories と Brewer 教授の創作詩

向井 毅 (福岡女子大学)
高宮利行 (慶應義塾大学名誉教授)

研究発表III (D411 教室)

9. 'The Fayr and Briȝt Beauty': Vision and the Formation of Community in Middle English Romance
戴 琬真 (The University of York)
10. Did Malory Know the *Tristan* of Thomas?
Valerie A. Wilkinson (静岡大学)
11. 氏名不詳—『堅忍の城』のガルシオとは何者か?
和治元義博 (北里大学)

研究発表 IV (D412 教室)

12. 古英語期末期における詩の伝統の継承と変容— *Menologium* の場合
唐澤一友 (駒澤大学)
13. Recurring Collocations in Middle English Alliterative Verse: Metrical-Syntactic Patterns
of the Second Half-Line
守屋靖代 (国際基督教大学)
14. *Hap, Happen, Happy* の借入と葛藤
小倉美知子 (千葉大学)

*受付は 11 月 28 日 (土) 11:30-16:30、29 日 (日) 9:30-11:30、独立館地下 2 階ホールにて行います。

日本中世英語英文学会 (会長 中尾 佳行)

事務局 〒670-8524 姫路市上大野 7-2-1

姫路獨協大学 外国語学部 西村秀夫研究室内

TEL/FAX 079-223-0965

【大会準備委員】 不破有理 (委員長) 岡崎久美子 鎌田幸雄 (副委員長)

John Scahill 網代敦 澤田真由美 村長祥子